



高坪山麓のそば畑と虚空蔵山荘

まちづくり広報誌

あらかわ

絆で結ばれ
自然と共に生きるまち あらかわ



【Topics】

- ・協議会活動紹介
- ・特集「あらかわ井Collection」
- ・あらかわ歴史さんぽ
- ・あらかわ伝言板

特集「仕事を知ろう、地域を知ろう！荒川高校との協働事業」





『仕事を知らう、地域を知らう！公開特別講座』

～荒川高校との協働事業～

11月19日(水)育成部会では、荒川高校との協働事業『仕事を知らう、地域を知らう！公開特別講座』を開催しました。この取り組みは、この地域に住んでいる素晴らしい技術を持っている人、やりたいことを仕事にして地域の中で輝いている人たちの話を聞き、高校生たちに自分の進路や地域のことを考える機会にしてみよう、と、昨年から実施しているものです。



① 「ケアマネジャー業務」

講師：伊藤寛さん（株式会社慎鍋・ケアマネジャー）

ケアマネジャーの伊藤さんからは、介護保険制度のあらましや村上地域の介護ニーズ、介護現場について、丁寧にお話をいただきました。

少し難しいテーマにも関わらず、伊藤さんのお話に生徒たちは真剣に耳を傾けていました。



② 「銀行の仕事&金融の仕組み」

講師：野田保さん（第四銀行坂町支店・主任）

野田さんからは、地域経済や金融円滑化を担う地方銀行の役割等について教えていただきました。また、この後金庫の見学等も行ったとのこと。

支店長さんからは、「高校生のうちにいろいろな経験をし、将来について早くから考えることが大切です。将来は、地元荒川をはじめ、新潟のために尽力していただけたらうれしい」とのエールが送られました。



③ 「おいしいスイーツ、パン作り体験」

講師：久保山亜矢子さん（小島屋菓子店・パティシエ）

小島屋さんでは、パンやスイーツ作り、店頭での接客などの体験講座が行われました。初めての体験に戸惑いながらも、真剣な表情でパン作りや接客に臨む姿が印象的でした。



④ 「マジックの楽しさ」

講師：山田夢遊さん（マジシャン）

マジックから生まれる多くの人との出会いやふれあいを、実際のマジックを織り交ぜながらお話いただきました。マジックが持つ魅力や人を楽しませることの喜びは、生徒たちにも十分に伝わったようです。



⑤ 「簡単ダイエット講座」

講師：内山慎さん（ハンドニスト整体院代表・作業療法士）

先生が若くてハンサム！しかもテーマは、思春期の生徒たちが興味を持ちそうな「ダイエット」ということもあり、生徒から積極的に質問が投げかけられる活発な講義が行われました。

講義の後半、隅々までギッシリと書き込んだ「内山先生の将来設計図」を披露し、「将来の自分の姿を思い描き、そこに向かって突き進む意志が大切！」と話されていました。



⑥「ヘアカット体験講座」

講師：近和也さん（ヘアサロン・コン 第63代全国理容競技大会優勝）

日本チャンピオンにもなった講師・近和也さんの指導の下、生徒たちはプロ仕様のハサミを手にし、ウィッグ（マネキンの頭）でカットに挑戦。後日、学校からまちづくり協議会に届けられた生徒の感想の中に、「今回の講座を受け、これから理容師になるための勉強をしていきたい!」という言葉がありました。



⑦「なりたい自分を見つけよう」

講師：小島園子さん（パナソニック㈱新潟電材営業所）

荒川高校卒業生でもある小島さんからは、企業の中で頑張ってきた小島さんの貴重な実体験や一流ホテルの総料理長になった同級生のお話なども交え、将来の夢や仕事について講義をしていただきました。



⑧「親と子の関わり方（人と人の関わり方）」

講師：山田マキさん（㈱新潟第一アイビー化粧品 代表取締役）

山田さんの講義は、ミニゲームを交えながら対人関係について考えるというもの。

子どもの叱り方は、「感情的になり、上から一方的に叱りつけるのではなく、正面から向き合い、ふれあい、同じ立場で伝えることが重要」と話されました。



荒川高校の中島校長先生

今回の協働事業は、地域連携型のキャリア教育として大変有意義であると思います。郷土愛の向上にも繋がりますし、この地域の将来の担い手である人材への先行投資ともいえるものです。今後も継続させていきたいと思っています。

ご協力いただきました講師先生、そして学校関係者のみなさん、本当にありがとうございました。

高坪山周辺活動団体等 フィールドワークを実施しました



9月7日(日) NPO 法人「かみえちご山里ファン倶楽部」（上越市）の関原剛氏を講師に招き、フィールドワークを開催。高坪山周辺で植栽活動や野菜栽培などに取組んでいる団体の関係者ら約30人が、互いの活動現場を散策しました。

育成部会では、今後、高坪山周辺活動プロジェクト会議を設け、各団体が協働で行うエリア全体としての活動を模索しながら、将来的には荒川地区の集客や活性化を担うエリアとして成長させていきたいと考えています♪

コミュニティビジネス育成セミナー 開講！（講師：金子洋二氏）

11月30日(日)地域課題の解決を「ビジネス」の手法で取り組むためのコミュニティビジネス育成セミナー（全4回）を開講しました。

第1回目は、参加者にコミュニティビジネスの現場を見てもらい、話を聞いて感じ取ってもらおうと、阿賀町にある NPO 法人「コスモ夢舞台」、福島県西会津町にある「キノコハウス」と「奥川こらんしょ村」を訪問しました。参加者からは、組織体制や運営状況、今後の展望などについて多くの質問が投げかけられ、活発な意見交換が行われました。

※第2回からは荒川支所を会場に開催します。途中参加も大歓迎です。詳しくは裏表紙をご覧ください





花いっぱい作戦進行中♪

今年のラベンダー畑は、薄紫色の花で一杯になりました！

でも、ラベンダーはいつまでも花をつけておくと木が弱ってしまうそうです。また、ラベンダーの花は見て楽しむだけでなく、収穫することでオイルや石けん、ポプリなど香りを楽しむこともできます。そして、花を使った取り組みを行うことで、少しでも活動資金を得ることができれば、この活動を持続可能なものにすることができます。

そこで今年は、将来に向けた取り組みとして、オイル、石けん、バスケットやポプリなど刈り取った花を活用した商品づくりを始めました。どんな商品をつくれば買ってもらえるのか！どうすればうまく作れるのか！商品のクオリティを上げるにはどうすればいいのか！等々、サポーターの皆さんと試行錯誤を繰り返しました。



ラベンダー工房始動！！



収穫したラベンダーを活用しての商品開発の取り組み。出来た商品がはたして売れるのか？消費者の評価は？、、、

本格的に商品作りを行う前に直接お客様の声を聞きたく、そして、少しでも多くの人にこの活動に興味を持ってもらいたく、10月の商工産業祭では作品の展示販売とクラフト体験を、11月の文化祭ではクラフト体験を行いました。

両日とも大勢の方に参加してもらい、好評のうちに終了しました。ただ、反省及び改善事項も多々あり。これからも日々研鑽！



荒島保育園を デザインする ワークショップ

まちづくり協議会では、あらかわ地区のまちづくりの拠点として、荒島保育園を市からお借りしました。

そこで、荒島保育園をあらかわ地区の元気の源として、そして地域みんなの施設として、何ができるのか？それは誰がやるのか？などを考えるワークショップを3回シリーズで開催しております。

今回のワークショップでまとめたみなさんの思いは、来年度から具体的な取り組みとして、活動をスタートさせます。





第2回あらかわスイーツ コンテスト表彰式

あらかわ地区まちづくり協議会

支援・情報部会



10月19日(日)荒川総合体育館



荒川商工産業祭において「あらかわスイーツコンテスト表彰式」が開催され、「あらかわスイーツ賞」の6名と「夢のスイーツ賞」の10名が表彰されました。

今年度のコンテストには、地区内外のみなさんから157点もの応募をいただき、その中から6点を選考。「あらかわスイーツ」として商品化し、各菓子店で約2ヶ月間の限定販売を行いました。

販売開始直後から好調な売れ行きを見せ、昨年を上回る4,300個以上の販売を記録する大ヒットとなりました。コンテストにご応募くださったみなさん、お買い求めくださったみなさん、本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます♪



▲会田理事長から、記念品と賞状が手渡されました♪



▲販売コーナーは長蛇の列



▲夢をカタチにしたあらかわ地区のお菓子屋さん



▲受賞者のみなさんで記念撮影♪おめでとうございます

まちづくり協議会活動PR in 荒川中学校青雲祭



10月25日(土)

荒川中学校青雲祭に「大好きあらかわコーナー」を出展し、スライドショーや壁新聞、写真パネルなどで、協議会活動やあらかわ地区の魅力を紹介しました♪



あらかわ歴史さんぽ

～ 名割・中野・長政 篇 ～

Pick UP

大沼伝説 ～大日様が授けた花嫁～

飯出野と呼ばれる約4キロメートル四方もある広い野原がありました。その昔、この野原は大きな沼でしたが、長い間に葭(よし)や萱(かや)・まこもなどに覆われたり、少しずつ干上がったりして、広い草原となったそうです。ここには、清水の湧き出るところがたくさんあり、池や沼になったところもありました。その中でも、一番大きく恐ろしげなところを鏡池(かがみいけ)といっていました。その池の近くに、名割という村があり、五郎太という、仏様のように正直で働き者の百姓が、母親と二人で住んでいました。

永正16年(1519)のころのことです。五郎太は、年ごろになり、結婚相手を探していました。ある日、ふと思い立って、乙の大日様(大日尊)に二十一日間、夜の丑の刻参りをし、「よいお嫁さんを授けてください。」とお願いすることにしました。お参りを続けて二十一日目の夜、いつものようにお参りを終えての帰り道、一人の美しい娘が山門のそばに腰をかけ、足をさすっているのを見かけました。五郎太は、こんな夜中に若い娘が何事だろうと思って声をかけました。娘は、「私は、信州諏訪の生まれで、名前をおのまといいます。両親に死に別れ、身よりのないまま、諸国のお寺をお参りして、父母の菩提を弔っています。乙の大日様まで来たのですが、長い旅で疲れて、ここで休んでいたところです。」と答えました。五郎太は、この日に人を助けるのも何かの縁、功德とも思い、「よろしかったら私の家でお休みください。」と自分の家に案内しました。母親も親切にこの娘をもてなしたので、娘は大変喜んで、しばらく五郎太のところに世話になることになりました。

やがて五郎太と娘は仲良くなり、夫婦となりました。二年後には、おのまに赤ちゃんができ、もうすぐ産まれそうになってきました。そのころは、特別に産屋をつくり、そこでお産をするという習わしがありました。いよいよ産屋に入るという日、おのまは、「どうか私のお産から三日間は、けっして産屋に近づかないでください。」と言って産屋に入っていました。そう言われても五郎太は心配で心配でしょうがありません。おのまとの約束があるので、じっとがまんしていました。しかし、ついがまんしきれずに、約束を破り、産屋のすき間からそっとのぞいてしまいました。すると産屋いっばいに大蛇がとぐろをまいて、その上に赤ん坊を乗せ、ペロリペロリとなめていたのです。

この姿を見た五郎太は、びっくりして家に帰り、ふるえていました。それに気づいたのか、おのまは赤ん坊を抱いて五郎太の前にあらわれ、このように言い残し、赤ん坊を五郎太に渡し、姿を消してしまいました。「実は、私は信濃の諏訪の主で、このたび大日様の命によって人間に変わり、あなたと夫婦になりました。しかし、正体を見られてしまったので、これ以上はここに住むことはできません。でも、これからは鏡池を住み家とします。これからもしも困るようなことがあったら、この池までお出てください。必ずお力になります。」

赤ん坊は、母が恋しいのか、毎日泣いてばかりいて、なかなか泣きやみません。困り果てた五郎太は、おのまの言葉を思いだし、赤ん坊を抱いて鏡池のところまで行きました。池のほとりで大きい声でおのまを呼ぶと、池の中からおのまが現れ、赤ん坊に一つの玉を与えました。するとその功德のためか、そのから後、赤ん坊は泣くこともなく、無事に成人したということです。

この玉は宝珠と言われ、後に大沼大明神(雨乞いの神様)として、大切に祀られたそうです。

『あらかわ郷土めぐり』(2011) あらかわ郷育会議 より引用 (pp.21-22)、当紙編集部にて一部改変(読み仮名)。

Pick UP

長政用水 ～幾度の洪水を乗り越えて～



長政という地名は、この地にて新田開発に取り組んだ宮川四郎兵衛長政に由来するものであり、地名としては1736年に完成したという長政新田を端緒としている。1597年（慶長2）に作成された瀬波郡絵図において、現在の長政あたりは野地と記されているだけのようであるが、入出野と呼ばれる大きな池や水たまりのある低湿地であったという。これは左記の「大沼伝説」に出てくる飯出野の特徴と重なり、同一もしくは連続したものであると推察される。

宮川は、紫雲寺潟の開拓事業と一緒にいった紀伊国屋久左衛門と共に、1721年（享保6）に新田開発と用水工事を代官所に願い出て、1727年（享保12）から1736年（元文1）の工事期間を経て長政新田、紀伊国新田を開発したとされる。この時、用水は付近の大きな池から引いたというが、この事は「大沼伝説」の湧水に関する記述を確からしいものとしていると言えよう。

しかしながら、これでは少し高い場所となると水を引くことができず、宮川は現在の荒川頭首口あたりから荒川の水を引き入れることを考えたという。これが今日の長政用水の原型となる構想であるが、周辺の村々からの反発を受けるほか、1757年（宝暦7）に荒川の大洪水によって取水口が埋まるなどして工事は難航し、宮川は工事を断念する。

その後、長政新田・紀伊国新田の二つの村は、乙村の渡辺嘉蔵に売却されるが、嘉蔵もまた取水堰を改修して荒川から用水路を引こうとしたものの、1790年（寛政2）に荒川の大洪水に見舞われ、宮川と同様にこの計画は失敗する。そして1813年（文化10）、その権利は下関村の渡辺三左衛門に譲り渡される事となる。渡辺は1821年（文政4）より用水路と新たな土地の開発に着手し、1823年（文政6）に渡辺新田と長政用水路が完成する。この新田は1875年（明治8年）に長政新田・紀伊国新田と合併して渡辺三新田に改称され、さらに1912年（明治45）になって長政村という名称に変わったのだという。

完成後の長政用水は、江戸時代末期と大正時代、そして1967年（昭和42）の羽越水害といった大洪水に見舞われる度に修繕を余儀なくされた。しかし、こうした先人達の苦勞と努力があって、総延長約6kmの長政用水は現在800ha以上もの水田に農業用水を供給し、豊かな実りを我々に与えてくれるのである。

前掲）『あらかわ郷土めぐり』より「美田をうるおす長政用水」p11－12に基づき、本誌編集部にて加筆。

Pick UP

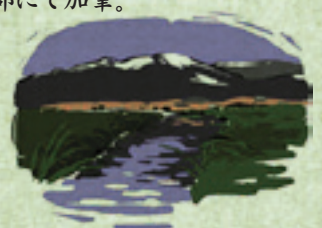
中野の四軒衆～

左記の「大沼伝説」および上記の「長政用水 ～幾度の洪水を乗り越えて～」で触れたように、現在の中野～長政あたりは、かつては池や沼の多い低湿地、原野であったようである（九十九池といった記述も見受けられる）。宮川・紀伊国屋が新田を開発する以前の1650年頃、かの地の開拓の動きがある。すなわち、米沢の時田村から移住してきた四名が「おごら川」の南北兩岸に住み着き、今日の中野集落に至る新村開発に取り組んだというものである。昔は四高野村とも名乗ったという。

余談ではあるが、明治になって平民も姓をもつようになった折、彼らの子孫が時田姓を名乗ったのは先祖の故郷である時田村に由来するという。

参考文献：渡辺英治『荒川郷土史補槌編』1978年、荒川町

前掲）『あらかわ郷土めぐり』



いただきます。

あらかわ丼 Collection



たれかつ丼 980円

手作りのヒレカツに甘辛い特製タレが見事に絡み合ったタレカツ丼。季節限定のご当地メニュー「はらこ丼」もオススメです。

村上市営あらかわゴルフ場
レストラン ポプラ

(営) 10:00~14:00

(休) 冬期間

(所) 大津3318-62



かつ丼 700円

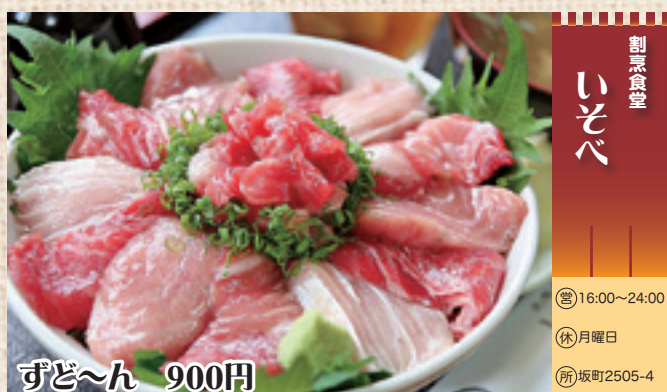
注文を受けてから一枚一枚丁寧に揚げたカツをカツオや昆布ダシベースの特製タレで仕上げたこだわりの一杯。野菜炒め定食やカツカレー、タンメンなども人気の食堂。

和風食堂
喜久平

(営) 11:00~14:00

(休) なし

(所) 藤沢327-7



ずど〜ん 900円

脳天・頬・あごなど、本マグロの頭の部分の身を使った丼だから「ずど〜ん（頭丼）」。脳天直撃のおいしさです！ ※数量限定

割烹食堂
いそべ

(営) 16:00~24:00

(休) 月曜日

(所) 坂町2505-4



焼肉丼 700円

特製タレが染み込んだ旨味たっぷりのハラミとナムルが丼を色鮮やかに飾る。ナムルとの相性は抜群で、文句なしの美味しさです！石焼ビビンバやラーメンも人気。

焼肉
白鳥

(営) 11:30~22:00

(休) 火曜日

(所) 下郷治屋637



一期一会の海鮮丼 1,650円

一期一会の海鮮丼と名づけたように、お客様との出逢い、魚たちとの出逢いを大切にしたい海鮮丼です。

和食とお酒と音楽のお店
なご道

(営) 11:30~13:30
17:00~22:00

(休) 日曜日
(応相談)

(所) 藤沢7-18



豚焼肉丼 1,000円

岩船産コシヒカリに荒川産の味噌・醤油で作った自慢のタレで焼いたお肉をたっぷり載せた丼です。お土産ホルモンも外せない一品。

肉の
みながわ

(営) 11:00~14:00
17:00~21:00

(休) 火曜日

(所) 藤沢18-乙

あらかわ **丼** 特集

あらかわ **丼** 特集

あらかわ **丼** 特集

あらかわ **丼** 特集

あらかわ **丼** 特集

あらかわ **丼** 特集

あらかわ **丼** 特集

あらかわ **丼** 特集



いこい食堂

丼 11:00~14:00
18:00~

休 なし

所 坂町2499-1

焼肉丼 900円

ご飯に敷き詰められたキャベツの上に、絶品甘辛ダレで味付けされた豚ロースがたっぷりと載ったスタミナ焼肉丼。これを目当てに訪れる常連も多い。ミニラーメンとのセット(1,000円)もお得な人気メニュー!



コーアイ弁当
坂町店

丼 8:00~19:00

休 元日のみ

所 下飯治屋550-1

月見ビビンバ丼 580円

オリジナルの特製ダレで味付けした豚肉を始め、ゼンマイやニラ、きくらげなど、7種類もの具材を盛り込んだビビンバ。トッピングの温玉との相性も抜群!ほかに、カツ丼やカキフライ丼など、豊富な丼メニューが揃う。



すが嘉

丼 11:30~13:00
17:30~20:00

休 日曜日

所 坂町3006-1

海老丼 900円

丼から飛び出すほどの特大海老丼。添加物を一切使用せず、香味野菜など天然素材だけを煮詰めて作った特製タレと絶妙にマッチした一品!牛カレーやカツ丼ファンも多い。



居酒屋
出雲

丼 17:30~1:30

休 月曜日(祝日
等で変更有)

所 藤沢51-1

かつ丼 810円

サクサクの揚げたてカツをダシと共に煮込んだ、ふんわり卵とじカツ丼。青のりの風味が食欲をそそる。ボリューム満点で、大満足の一品です♪



日本料理
松屋

丼 11:00~22:00

休 不定休

所 坂町2486-2

村上牛すき煮飯 2,500円

これ以上足すものも、これ以上引くものもありません。水、米、そして村上牛、『村上牛すき煮飯』は越後村上の豊かな自然そのものです。テイクアウトもできます。※前日までの予約制
<http://www.matuya-murakami.jp>



渡幸寿司

丼 11:00~14:00
16:00~22:00

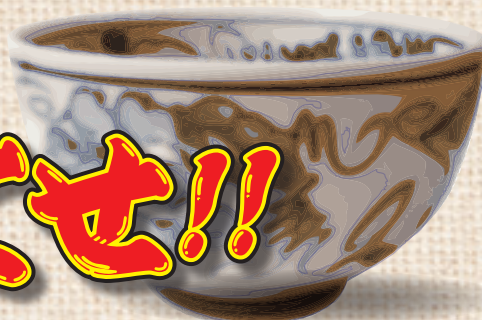
休 不定休

所 坂町2484-1

地物魚 海鮮チラシ 1,296円

シャリのうまさに加えて、季節によって異なる地物魚を使用した丼。コース料理も大人気のお寿司屋さんです。

**すべてを
食いつくせ!!**



※各店舗に関する標記の価格は、2014年12月15日時点のものです。全て税込価格です。

MERRY
CHRISTMAS

2015.1.18まで点灯中 (PM4:00～AM0:00)

あらかわ伝言板

コミュニティビジネス育成セミナーに 参加してみませんか？

講師：金子洋二氏 (CommunityDesignStudio
スタジオファイル代表)

- 〈開催済〉 第1回「先進地視察」
～コミュニティビジネスを五感で感じよう～
- 〈開催済〉 第2回「コミュニティビジネス入門」
～地域が元気になる事業とは？～
- 〈1/25〉 第3回「コミュニティビジネスと"人"」
～担い手とお客様を掴む！～
- 〈2/8〉 第4回「アクションプランの作り方」
～夢を実現する手順を学ぼう！～

◎会場は荒川支所3階会議室、時間は9：00～12：00
※途中参加もOKです。

※お問い合わせはあらかわ地区まちづくり協議会まで

定期開催中！「あらかわレコード鑑賞会」

■日時 毎月第3土曜、午後6：00～9：00

■場所 荒川支所3階 旧議場

往年の名曲がズバリ！千枚超のレコードの中から、青春の思い出と共にみなさんの心に残る曲もきっと見つかるはず！
至福のひと時をごゆっくりとお楽しみ下さい♪

主な使用機材：プレイヤー (PRO-JECT PERSPECTIVE)
プリ (YAMAHA C2) パワー (Tri TRV-88SE) スピーカー
(ALTEC A7 & PIONEER EXCLUSIVE Model 12301)

主な所蔵レコードジャンル：ポピュラー、ロック、ジャズ、クラシック、映画音楽、アニメ、フォーク、演歌、歌謡曲

寄付のお願い：ご不要のレコード (LP・EP盤) やミュージック・カセット・テープがありましたら、寄付を受け付けております。カビなどで汚れていてもかまいませんのでよろしくお願い致します。

編集後記

今号の一押しは、特集「あらかわ井collection」です。うまい井を一挙に紹介します！
じっくりご覧いただき、各店舗へ足を運んでいただけたら幸いです。
これからが冬本番です。みなさんお体などに気を付け、良いお正月をお迎えください♪

まちづくり協議会では、
あらかわ地区のいろんな話題を募集しています！

お気軽に、TEL・FAX 0254-62-3181

Mail love-arakawa@bz04.plala.or.jp

URL : <http://www.love-arakawa.bz-service.net/>